



狛江市議会議員

2015. 10・13

山本あき子の議会報告

<http://yamamotoakiko.seikatsusha.me/>

9月議会一般質問

◇地域包括ケアシステムの構築へ向けて

新たな総合事業の2017年4月スタートへ向けて、第6期介護保険計画が今年度から三年後を目標年度として始まっています。現在、**要支援1・2の認定を受けて日常生活の支援**を受けている方々にとって、今後も同様のサービスが受けられるのか、通所と訪問のケアはどうなるのか、負担する金額に変更はあるのか等、不安の声が多く聞かれる中、市としての考えを聞きました。

「変更後は専門的サービスが必要とされた方には既存の事業所によるサービスを、専門的サービスが不要とされた方には緩和した基準によるサービスや住民ボランティア等によるサービスを受けられるようになります。サービス提供者が変わるだけでサービスを受けられなくなる訳ではありません」との答弁でした。しかしながら、2017年に新たな認定者を含め、対象者が何人いるかの試算をしていない点、担い手をボランティアと想定している点など、市民の不安と疑問を払拭するには至りませんでした。保険者として市の実情を把握して安心して住み続けることのできる**制度設計が必要**です。

◇学校での感染症対策について

2015年6月、小学校での感染拡大に伴う学校閉鎖は、保健所の検査によってノロウイルスが原因であったと判明しています。子どもたちを感染症から守るために私達大人が出来る事は何か。学校での対処は適切との事ですが、今回の教訓をぜひ本格的な流行へ向けて活かして欲しいと思います。**マスクとペーパータオル、消毒**

液だけではなく、保健所が推奨しているように使い捨てエプロンや手袋、シューズカバーの用意も必要です。関係各部署との情報共有と、狛江市感染状況のHPでの発信についても要望しました。

◇電磁波対策について

パソコンや携帯電話の普及と共に暮らしの中の電磁波も増加し、特に妊娠中の女性や子ども、そして電磁波過敏症の人への健康影響について懸念する声も増えています。電磁波は環境問題であるとも言われる中、他国に比べ日本での基準は非常に高く、そのリスクについて議論される事も少ない状況です。電磁波に対する市の認識について聞くと共に**窓口の設置を要望**しました。

☆中和泉4丁目根川通り沿いの市有地に申請されていたNTTドコモの携帯基地局については、事業者に対し市民からの意見書が17通寄せられ、**申請の取り下げ**が行われました。

☆決算委員会では吉野よしこと共に2014年の狛江市の施策・事業の進捗状況を審査し、一般会計・特別会計を認定しました。

☆「川内原発再稼働に反対し原発ゼロを目指す意見書」に賛成の立場で意見を述べましたが、10対11で不採択となりました。小・中学校のすべての学年で35人学級の実施を求める意見書は賛成多数で採択されました。

狛江・生活者ネットワーク

狛江市東和泉 1-1-25-101

TEL03-3430-1302 fax 03-5761-0678

E-mail

komanet.seikatusya@nifty.com